

請 願 文 書 表

受 理 番 号	第 6 号
受 理 年 月 日	平成23年11月8日
件 名	0.4%の年金引き下げをもとに戻すことを求める請願
請願者の住所 及び氏名	前橋市樋越町183-4 全日本年金者組合群馬県本部 執行委員長 小崎 洋一郎 桐生市菱町5-532 全日本年金者組合桐生支部 支部長 池田 芳郎
請 願 の 要 旨	<p>今年4月から年金が0.4%引き下げられた。この10年以上の間にたびたび年金の引き下げはあったが、引き上げられたことはない。この間、年金課税は強められ、医療・介護保険料は上がり続けている。</p> <p>年金を0.4%引き下げた根拠は、消費者物価指数の低下とされている。しかし、指数を低下させたものは、高校授業料無料化、薄型テレビ・IT機器など工業製品の価格低下であり、これらが高齢者の生活を反映するものでないことは明らかである。高齢者の生活にとって必要なものは、食料など生活必需品や健康を維持するための医療が中心になる。高齢者に対する税控除制度が取り上げられ、税金が高くなり、医療費や介護費も高くなっている。</p> <p>このことは、2010年参議院選挙にも反映し、「高齢者の生活に合わせた新たな基準による物価スライドを創設する」等を選挙公約に掲げた政党もあった。このような状況の下での年金引き下げは根拠の薄いものであり、年金生活者を苦しめることで、地域社会の活力をも失わせてしまう。</p> <p>桐生市議会で、年金引き下げ0.4%をもとに戻すことを求める意見書を採択し、政府に送付していただきたく請願する。</p>
紹 介 議 員	渡辺 修
付 託 委 員 会	教育民生委員会